

今回は11月の「家庭読書の日」の感想を紹介します！

南郷小学校 令和6年12月

毎月23日は「いしかわ学校読書の日」加賀市の「市民の読書の日」です。それに合わせた「家庭読書の日」の取り組みにご協力いただきありがとうございます。

1年

保護者

読んだ本「世界で一番美しいイカとタコの図鑑」
様々なイカやタコの登場に大興奮、足が8本のイカ「タコイカ」がいることを知りました。

児童

読んだ本「バーバパパかせいへいく」
いんげんまめからめがでたので、かせいでたべるものがあってよかったです。

保護者

読んだ本「おたすけこびと」
こびとたちに手伝ってほしいといいながら聞いていました。いろんな感性を身につけていってほしいです。

保護者

読んだ本「うんこ！」
ひらがなだけの絵本。弟に絵を説明しながら読み聞かせをした。「うんこ=汚い、臭い」だけでなく、最後は農家さんの役に立っていることを知れる本だった。

児童

読んだ本「どうぶつのめいろ」
いろいろなどうぶつを、おとうさんとさがせてたのしかったです。

2年

児童

読んだ本「そらの100かいだてのいえ」
30かいのにじさんの赤ちゃんがかわいかったです。100かいまでいくのはたいへんだけど、100かいにつくまでにゆめがかなうので、わたしも100かいにいきたい。

児童

読んだ本「うちゅうえん足」
ぼくも、うちゅうえん足にいて、そらからのけしきを見たくなくなってきました。ぼくもそんなえん足があるといいと思います。

3年

児童

読んだ本「たんぽぽ」
たんぽぽは、2しゅるいの花があるなんてはじめてしました。こんど、たんぽぽをさがしてみたいです。

保護者

読んだ本「きみはほんとうにすてきだね」
弟にこれ好きやろ～と言って、弟を思って本を選んでくれた事にびっくりしました。まだまだすらすらは読めないのですが、本をかこんで兄弟が集まる姿は微笑ましいです。

児童

読んだ本「アニマルバスとほしまつり」
ほしの花がねがいをかなえてくれるのがすてきだなと思いました。

保護者

読んだ本「ぱんつくったよ」
同じ言葉でも、区切るところをかえたり、イントネーションの違いで意味が変わって、とても楽しみながら読めました。

児童

読んだ本「小さなスプーンおばさん」
ある日、突然体が小さくなってしまい、ごしゅじん様のそうじやりよう理ができなくなったのがおもしろかったです。でも小さくなったことで、動物を使い、家事をしていたら、動物と話せるようになったのがすごいと思いました。

4年

児童

読んだ本「もりのがっしょうだん」
森はとても大事なんだなと思いました。動物が歌えるのなら、ぼくも見てみたいと思いました。

5年

児童

読んだ本「自閉症の僕が跳びはねる理由」
人とお話が出来ないから書いたりしたり、他の人に気持ちを伝える方法にチャレンジして、努力しているのがすごいと思いました。

児童

読んだ本「このあとどうしちやおう」
わたしのひいじいちゃんも今、天国にいますのでさみしいです。97年の人生でやりたいことが一つでも多くできていたらいいなと思いました。わたしもまだ11さいなので、残りの人生もくいがないように、自分のやりたいことをやるために「このあとどうしちやおうノート」を作ろうかと思いました。

6年

児童

読んだ本「区立頭のとっぺん小学校」
自分がまわりの人と少しちがっても、自分らしくいることが大切だと思いました。

児童

読んだ本「舞台照明のひみつ」
表情はおなじでも、照明の色が変わるだけで、舞台上に立っている人の気持ちが全然違ってくることがわかりました。やっぱり「照明」はすごいものなんだと感心しました。